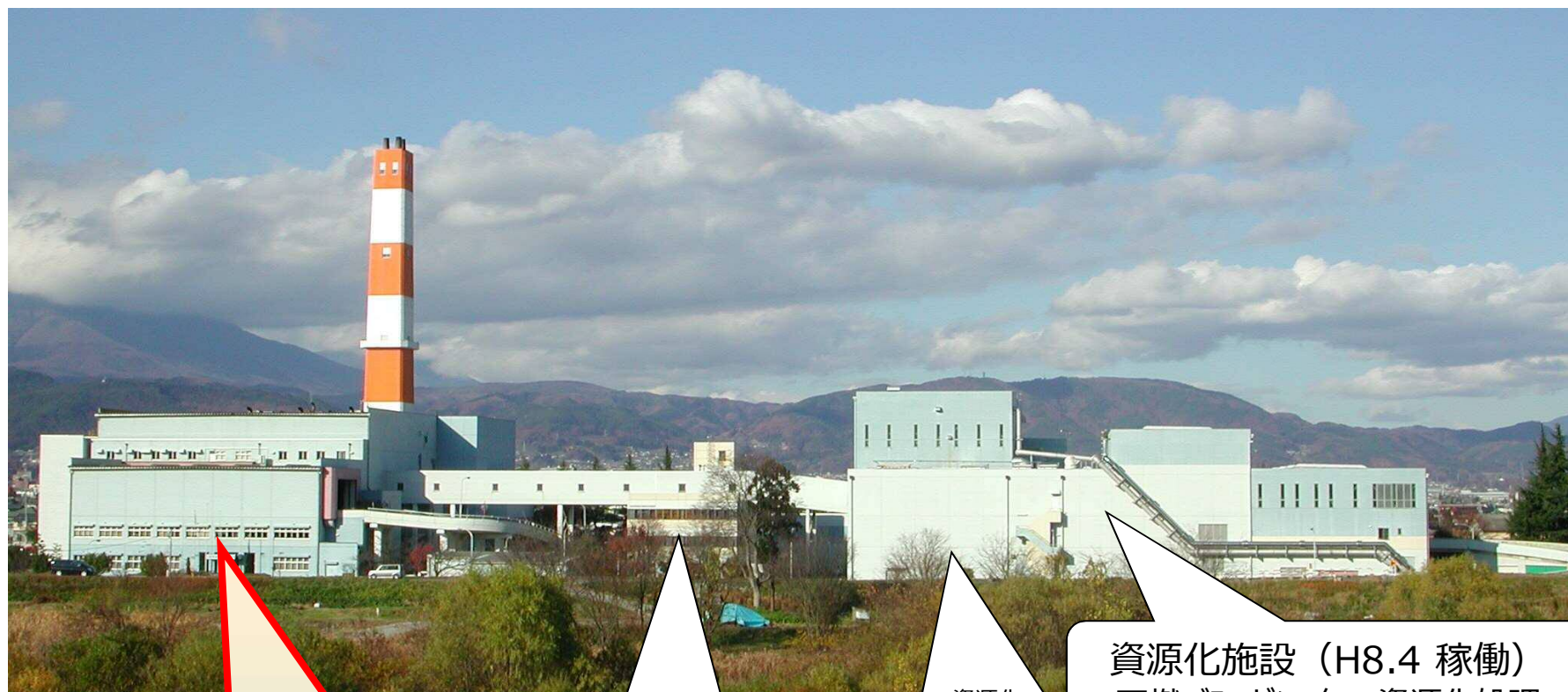


(仮称) 長野広域連合 A 焼却施設の概要について

現在のごみ処理施設 (長野市清掃センター)



焼却施設
(S57.1稼働)
処理能力450トン/日

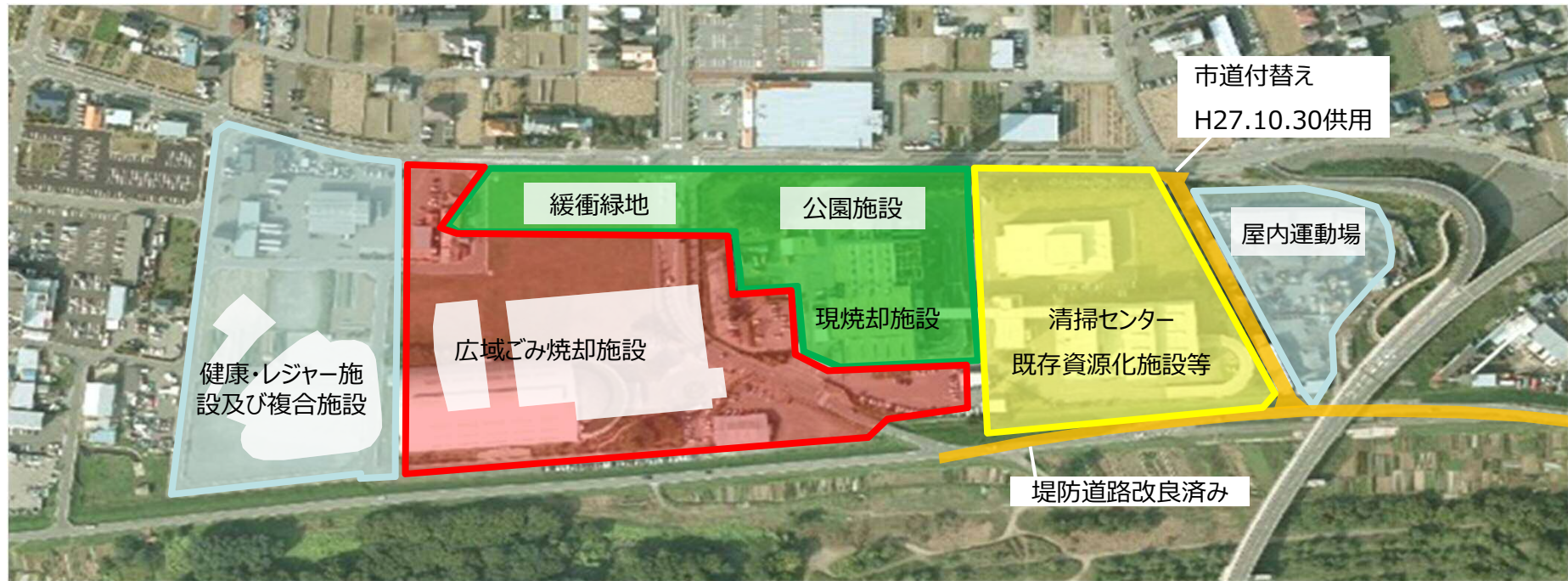
リフレッシュプラザ
(H8.4 供用開始)
環境・リサイクル啓発施設

資源化
施設北
プラスチック製容器包装圧縮梱包施設
(H16.6 稼働) プラ容器・ペットボトルの資源化処理

資源化施設 (H8.4 稼働)
不燃ごみ・ビン・缶の資源化処理

建設場所

2



長野市松岡二丁目 (旧サンマリーンながの及びその周辺)

完成イメージ

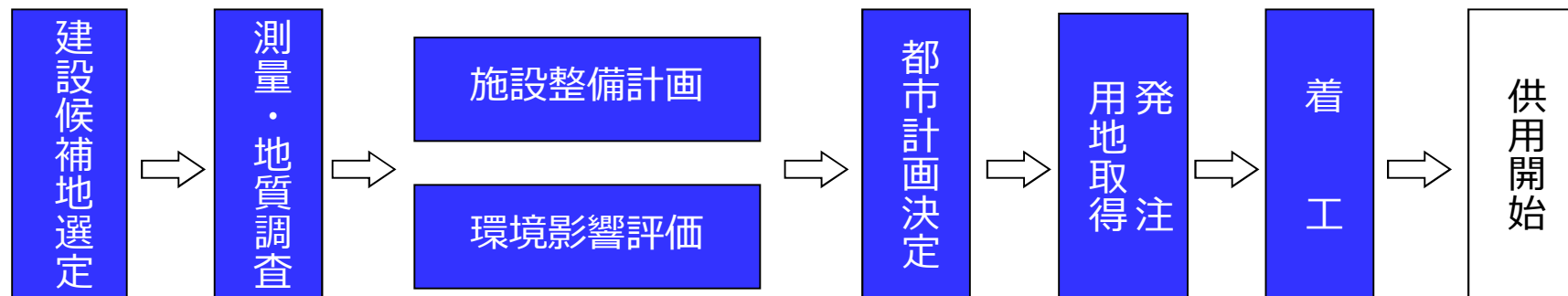
3



建設の進捗状況

- H17.11 焼却施設の建設候補地を大豆島松岡二丁目に選定
大豆島地区、松岡区に協力を依頼
まちづくりにつながる事業等を提案
- H18.11～12 測量・地質調査
- H20.11～24.3 環境影響評価
- H24.11～12 焼却施設計画概要等について住民説明会
- H25.1 大豆島地区住民自治協議会が建設に基本同意
- H25.3 建設に関する協定書締結
- H26.7 事業実施方針・要求水準書（案）公表
- H27.6 DBO方式による契約締結の優先交渉権者が決定 代表企業：日立造船(株)
- H27.7 長野広域連合臨時議会において工事請負契約議決
- H28.5 工事請負事業者主催による安全祈願祭開催・工事着手

⇒ 現在、工場棟建設中 平成30年10月から試運転を開始（予定）



[平成31年3月]

焼却施設の比較

5

区分	長野広域連合 A 焼却施設 (H31.3稼働予定)	長野市清掃センターの 焼却施設 (S57.1稼働)
処理方式	焼却炉 (ストーカ式) 灰溶融炉 (電気式)	焼却炉 (ストーカ式)
処理能力	焼却炉 405 t / 日 (135 t × 3 炉) 灰溶融炉 22 t / 日 (22 t × 2 炉) (1 炉予備)	焼却炉 450 t / 日 (150 t × 3 基)
施設規模	概ね 100 m × 85 m	概ね 100 m × 45 m
施設高さ	約 30 m (一部 35 m)	約 28 m
煙突高さ	約 80 m	約 80 m

ごみ処理の広域化

- メリット ①「排ガス処理の高度化などによる環境負荷軽減」
 ②「コスト削減」 ③「熱エネルギーの効率的回収」 など

長野広域連合管内 8 市町村の「可燃ごみ」と「焼却灰」を共同して処理

《現状》

管内 4 施設で焼却
 (いずれも老朽化)

《計画》

A 焼却施設 (長野市大豆島)

処理能力 405t/日
 ストーカ式焼却 + 灰溶融

B 焼却施設 (千曲市屋代)

処理能力 100t/日
 ストーカ式焼却 + 灰溶融

最終処分場 (須坂市仁礼)

埋立容量 8.5万m³
 埋立期間 15年間

広域化したときの「ごみの流れ」

